

ニホンジカの通り道をネットで通せんぼ！ ～ニホンジカ捕獲頭数が県下第1位～



くくりわなにシカを誘導するネット取り付け中

佐久地域の野生鳥獣による農林業被害は1億円を超え、中山間地域の生活を維持する上で、重大な課題となっています。

特に、被害額の約8割を占めるニホンジカについては、樹皮の食害等が絶えず、生態系への影響も懸念されています。

このため、1年間で8500頭の捕獲目標を掲げ、徹底した捕獲を推進しており、管内で平成25年度1月末までに7936頭、平成24年度には7972頭を捕獲し、いずれも県下第1位となっています。

捕獲対策として、①佐久市等で集落周辺の捕獲作業に農業者が参画する「集落等捕獲隊」の編成②佐久市内山で集中的に捕獲する「広域捕獲隊」の編成③山梨、群馬県との連携による広域的な捕獲などに取り組んでいます。

また、シカを効率的にたくさん獲る可能性を探るため、シカの通り道をネットで遮断し、くくりわなに誘導する新たな取り組みを試んでいます。

(写真)

これは、林内の立木にネットをひもで縛りつけ、この切れ目にくくりわなを仕掛けるもので、設置後は、わなの数が減り、道端の同じ場所に連続してわなを仕掛けることができ、毎日の見回りも楽になりました。

これからも、1頭でも多くシカを捕まえて、生息頭数の低減に努め、被害の軽減を図っていきます。